

2024年7月19日

なんば広場マネジメント法人設立準備委員会 委員会次第

日時：2024年7月19日(金)10:30～

場所：河原センタービル2階

なんば広場マネジメント法人設立準備委員会事務所

1. 挨拶

2. 報告事項

- ・ 前回委員会（2024.4.19）の議事録確認

3. 相談事項

- ・ ほこみち制度適用に向けた今後の方針について

4. 今後の予定

- ・ 2024年10月18日（金）10:30～
- ・ 2025年1月17日（金）10:30～

以上

なんば広場マネジメント法人設立準備委員会 委員会

日 時：2024年4月19日（金）10:30～11:15

場 所：河原センタービル

参加者：戎橋筋商店街振興組合 菊地氏
なんさん通り商店会 木村氏
高島屋 野下氏、藤原氏、井原氏
丸井 戸田氏、田中氏
南海電鉄 門倉、桐山、寺田、平木、入江、北川、廣田、木本（記）

1. 挨拶

2. 前回委員会（2/2）の議事録確認

- ・前回2月2日委員会議事録について幹事長寺田氏より説明

3. その他（※決議の都合上、次第入れ替え）

- ・当初は社会実験を行ったうえで、ほこみち指定を受ける予定であったが、民間主催の催事について警察からの厳しいスタンスがあり、先にほこみち指定を受け、社会実験を進めていくことができないか検討している。
- ・行政としては、内部調整に時間がかかることが想定されるため、何が最善かも含めて急ピッチで検討を進めていくスタンスである。

<各団体からのご意見 ※敬称略>

藤原) ほこみち指定を受けることによって、広場を柔軟に活用できるということか。

⇒入江) 現状警察の考え方としては通行のための道路であるため、安全性についての厳しい指摘があったり、企業PRは認める理屈がないと言われていたりしている。

藤原) ほこみちが指定されて準備委員会が短期的に受けるとなった場合、その後法人が設立した際にその権利は法人にスライドするのか、それとも再度法人が受け直すことになるのか。

⇒入江) 受け直すことになる。行政に対しては、例えば1、2年など実運用時までの短期間、準備委員会をほこみち事業者として選んでもらえないかという働きかけになる。

戸田) 法人化した後に事業化したいことを社会実験で行うべきであるため、ほこみち指定を受けることが最良の選択肢かと思う。ほこみち指定を受けてから準備委員会が社会実験を行うことのメリット・デメリットの整理が必要。

⇒入江) ほこみちを受けると占用料は9割減免、道路協力団体になると10割減免となるが、建設局はほこみちだけで10割減免を適用する理屈を考えてくれている。道路ではなく公園という位置づけにする案もあるが、減免規定がなく公園使用料を払わないと

いけない。新案がベストかどうかも含めて整理を進める。

門倉) 行政から、万博期間も準備委員会が受けてほしいと言われる可能性が高いかと思う。

⇒入江) ほこみち指定には最短でも半年かかるとなると、2025 年度いっぱいの社会実験を受ける可能性は高い。我々としては万博期間に受けることのジャッジが必要。

門倉) ほこみち事業者として短期間受ける際には、再度準備委員会の承認が必要となるか。

⇒入江) 準備委員会だけでなく、協議会での承認も必要と認識している。

菊地) 準備委員会としては、占用料は 10 割減免でないといけないという考え方を当初からしていたか。

⇒入江) 1 割負担でも 2 億円程度かかるため現実的ではない。行政側も 10 割減免を前提として考えている。

木村) 法人設立は早めにすべきではないか。戎橋となんさんで先に設立した方が手続き上、楽ではないか。

⇒入江) 大阪市は公募ではない方法を検討している。一つのアイデアかと思う。

田中) 御堂筋の団体と合同で進めていくことのメリット・デメリットを整理することも必要。公園化することについても議論と交渉がし尽せていない。色んな課題を解決していくための組織や考え方にしていくべきである。

4. 決議事項

(1) 第 1 号議案 2024 年度コンサルタント業務及び社会実験業務の委託

- ・事務局入江より、ハートビートプランに委託する仕様書および見積 (税別 15,000 千円) について説明。
- ・2023 年度は年間のコンサルタント業務と、11 月からの社会実験に伴う業務として、金銭の出納や請求書発行、契約締結の代理などを委託していた。2024 年度はそれらの業務を合わせた形での契約としたい。
- ・警察協議や指摘事項に対する資料の修正、当日の現場確認など、社会実験開始に伴って想定以上の業務を行っていただいている状況である。

<各団体からのご意見 ※敬称略>

藤原) 2024 年度の予算内であるか。

⇒入江) 前回の準備委員会で承認いただいたとおり、準備委員会の持ち出しとして 10,000 千円、補助金 10,000 千円、合計 20,000 千円から 15,000 千円を拠出する。残りの 5,000 千円については、2023 年度の剰余金約 3,000 千円と合わせて、社会実験の原資とする。

⇒第 1 号議案は拍手をもって承認された。

(2) 第2号議案 委員長選出

・委員長門倉より、南海電鉄の体制変更について説明し、退任の挨拶を述べた。
⇒第2号議案は拍手をもって承認された。

・新委員長桐山より挨拶を述べた。

5. 次回日程について

2024年7月19日(金)10:30～ @河原センタービル にて開催

以上

ほこみち制度の適用に向けた 今後の方針について

2024年7月19日

なんば広場マネジメント法人設立準備委員会

1. 社会実験における事業収支検証のための条件整理

	やりたいこと	指摘者	前提条件
1	企業催事 広告 滲み出し	警察	1) 法的制度 に則っていない状態では、企業主催の取組は不可。 2) 大阪市が 道路使用申請・道路占用申請申請主体 となる場合は、大阪市主催と同等のルールでやるべき。
2	デジタル サイネージ	大阪市	1) 大阪市による 公募 が必須。
3	占用料免除 減免	大阪市	1) 占用料免除、1割負担のどちらでも選択可。 ▶ 占用料免除の場合 ① 収支均衡が必須 ② 収支の行政チェック・公開が必須 ※行政として対外的に説明を求められるため、準備委員会の詳細収支のみでなく、広告事業者の売上・仕入れや人件費等経費・利益・REP手数料などのチェック・公開が求められる。 ▶ 占用料1割負担の場合 占用料納付義務を果たしているため収益の自由度のある使い方が可能

社会実験における事業収支検証のための条件

▶ 企業催事・広告・滲み出し実施のために

① **法的制度の早期適用が必要**

② **準備委員会が道路使用申請・占用申請主体となる**

▶ デジサイ実施のために

③ **大阪市による公募が必須**

▶ 占用料を免除するために

④ **収支を均衡にし、行政チェックを受け、収支を公開する**

※ 占用料1割負担はリスクが高く、社会実験時には適さないため、占用料免除の方法で行う

2. 当初の想定と変わってきたこと

- ① **警察の指摘により、現状(大阪市との協定による運用)は企業主体の利活用・広告は不可**
➔ 法的制度を適用しないと認められない
- ② **大阪市の指摘により、収入の大きいと推測されるデジサイ実施には大阪市による公募が必須**
- ③ **道路協力団体とほこみち制度の併用（占用料免除のため）の課題**
 - ・道路協力団体を使わなくても免除の方法はある
 - ・個々のイベントや利活用、広告などについて、2つの制度の選択が求められる、両制度の会計を別にすることが求められる



現状の社会実験スキーム(大阪市との協定による運用)では、事業収支の検証ができないことが明らかになった

そのため、以下の方針で進むのはどうか

方針
(案)

- ① 大阪市がほこみち制度の公募を行う
- ② 準備委員会がほこみち事業者として応募する
- ③ 準備委員会が占用主体として2025年度も社会実験を継続

WHAT IS HOKOMICHI

ほこみちとは

ほこみちは「歩行者利便増進道路」の愛称です。道路を歩行者にとって、もっと安心して歩ける、楽しく過ごせる「みち」にしたい、そんな願いを込めました。

どんな制度？

かんたんに言うと、道路を「通行」以外の目的で柔軟に利用できるようにする制度のこと。この制度によって道路空間を活用する際に必要となる道路占用許可が柔軟に認められるようになります。制度を利用すると、たとえば、幅の広い歩道にオープンカフェやベンチなどを置いて、歩行者にとって便利でにぎわいあふれる空間を創り出すことができます。

※道路占用：道路にモノを設置し、継続して使うことを道路法では「占用」といいます。



POINT1



歩行者のためになるモノをおくことができる

ほこみち制度を適用する場所を決めることで、歩行者のためになるモノを歩道におくことができるようになります。地域の方々からほこみちの使い方を道路管理者に提案するなど、地域でストリートの魅力や可能性を話しあうきっかけにもなります。

POINT2



道路を占用する者を公募できる

道路を占用する者を公募し、その中からより良い提案を選定することができます。公募した場合、占用期間が最長20年間となり（通常は最長5年）、テラス付きの飲食店など初期投資の高い施設も参入しやすくなります。

POINT3



占用料が減額される

通常、道路を占用する場合には占用料を支払う必要がありますが、ほこみち制度が適用された場所では、道路の維持管理の協力も行う場合、占用料が減額※されます。

※ 国道の場合、90%減額

3. 社会実験と将来の公募方針(案)

- ・常設時・社会実験時共に、ほこみち制度・公募の制度の適用を目指す。
- ・社会実験は占用料免除とし、社会実験における事業収支検証結果を基に常設時の占用料の考え方を決定する。

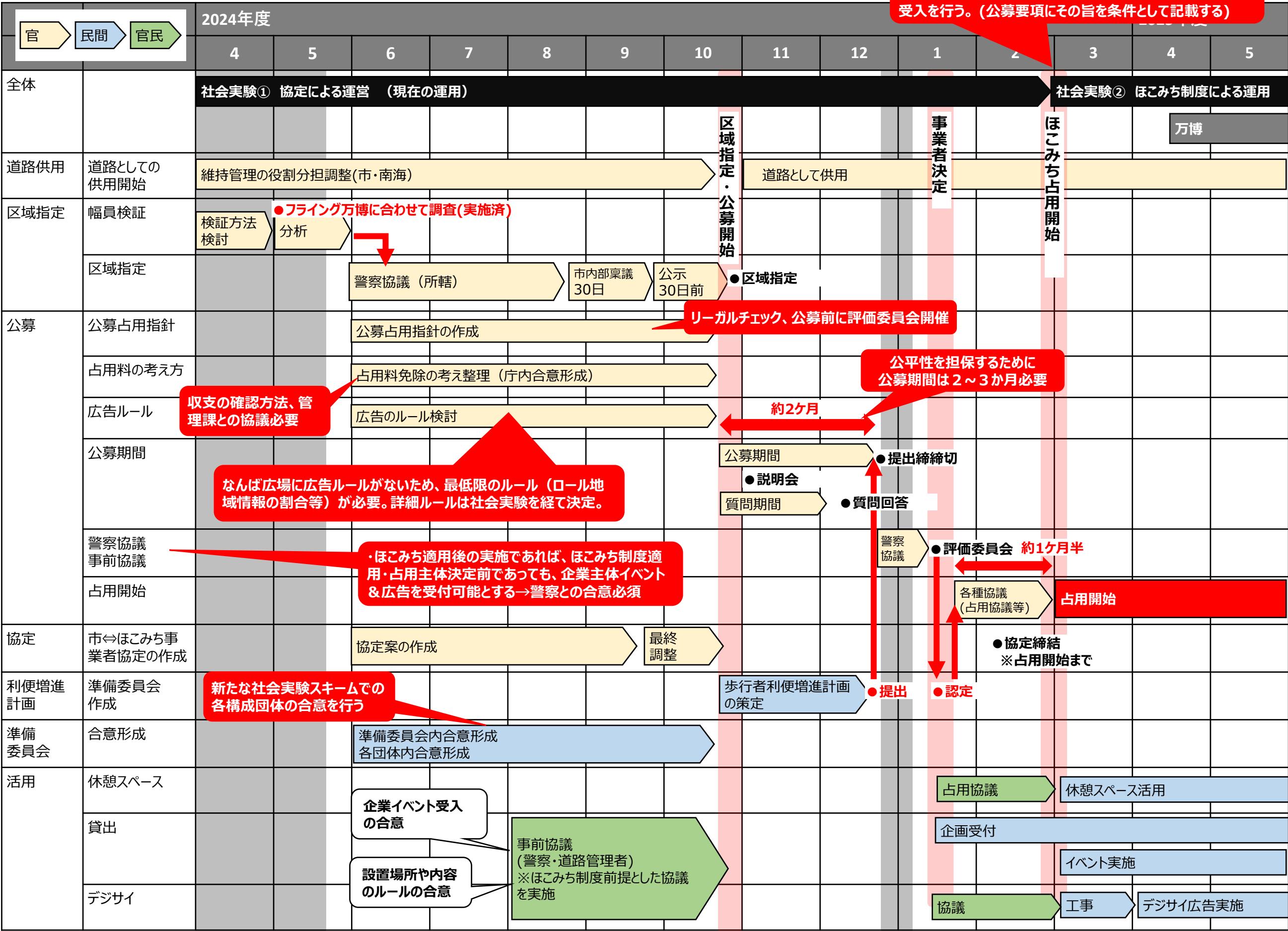
	常設時	社会実験② (法的制度適用後)
①制度	ほこみち制度	ほこみち制度
②決定方法	公募	公募
③期間	最大20年 ※社会実験結果を基に議論	2025年度末まで
④ほこみち区域	①広場中央 ②マルイ前 ③喫煙所南 ④なんさん北	①広場中央 ②マルイ前 ③喫煙所南
⑤事業者の役割	同右 ※社会実験検証結果を踏まえ、必要項目追加	①地域環境保全 (清掃、自転車対策、道路の適正利用等) ②利活用 (広場の貸出窓口、隣接施設しみ出しの調整など) ③収益事業 (広場貸出、広告事業など)
⑥占用主体	ほこみち事業者(エリマネ法人) ※法人化想定	ほこみち事業者(準備委員会)
⑦道路使用申請	ほこみち事業者(エリマネ法人) ※法人化想定	ほこみち事業者(準備委員会)
⑧占用料	極小化を目指す ※社会実験検証結果を基に議論 ※占用料の算出方法を今後検討	免除を目指す ※大阪市とほこみち事業者で社会実験協定を結び、 収益を公共に還元(収支均衡)し、収支公開 を行うことで免除

**道路上の
一定のまとまったエリアにおいて
維持管理・活用を
一体的に実施する事業者を
公募することは日本初の取り組み**

ほこみち制度の占用料は原則最大9割減免だが、大阪市占用料条例の「市長が公益上の必要その他特別の事由があると認めるとき」に該当する事項として免除を目指す

(2) ほこみち制度の早期適用に向けたスケジュール (手続き)

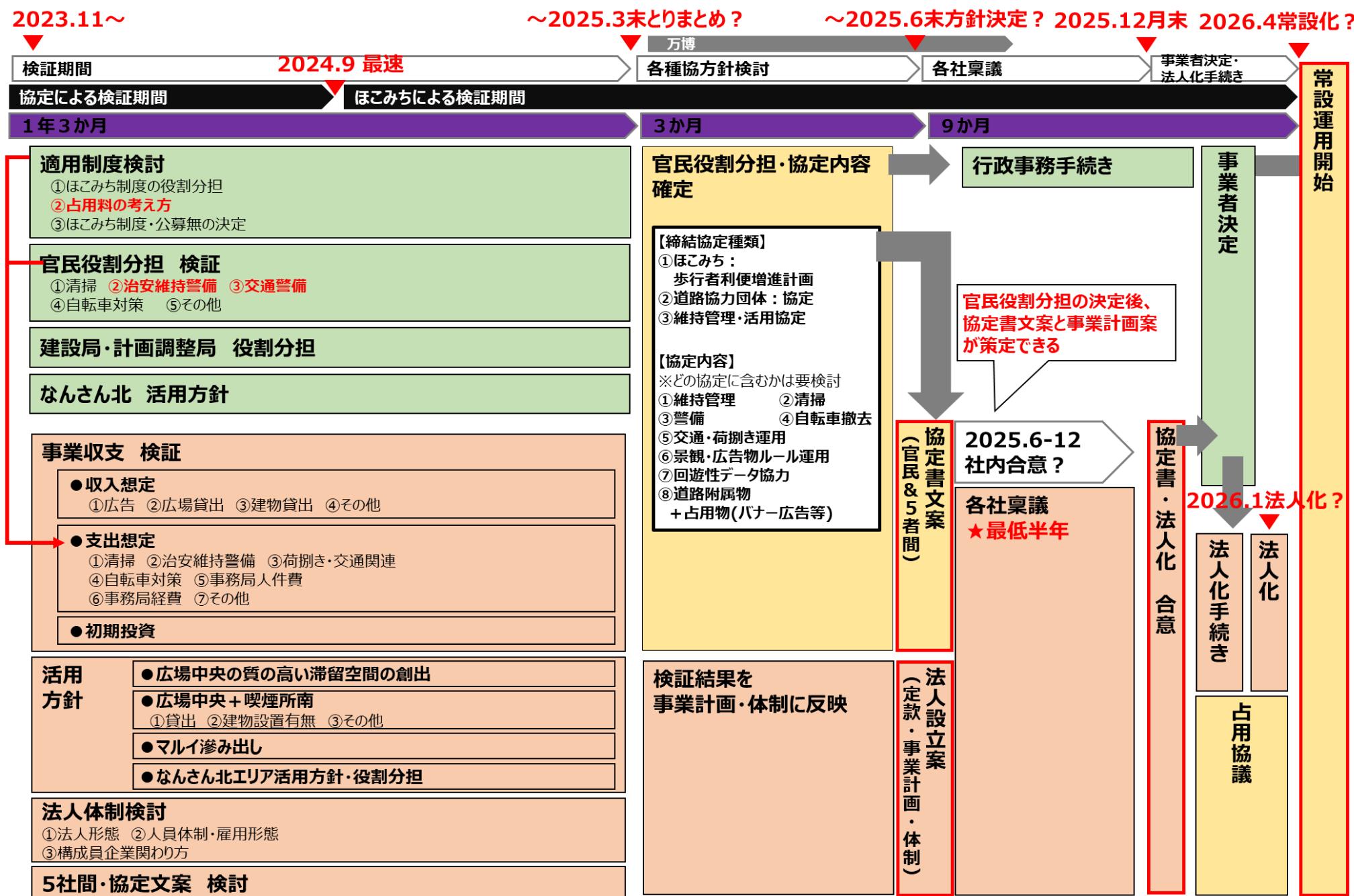
ほこみち占用開始後実施予定の企画受入は、ほこみち事業者に引き継ぐことを前提に、準備委員会が社会実験①として受入を行う。(公募要項にその旨を条件として記載する)



<従来スケジュールから変更となる点>

- ・前回提示スケジュールでは、非公募でのほこみち早期適用を前提としていたが、デジタルサイネージ実施のためには公募が必須であるとの大阪市からの見解を受け、**公募手続きを経て2025年4月ごろから1～2年間の社会実験を実施**するスケジュールに変更となる。
- ・ほこみち適用までの進め方やほこみち適用後の社会実験～本設運用までの期間・進め方について、準備委員会側の検証に要する期間や行政側の公募手続きに要する期間なども踏まえながら準備委員会にとって最適な方針を早急に見極め、大阪市と協議していく。

(参考) 2024.4委員会提示スケジュール



■2023年度事業（11月～3月）収支

【収入】

(円)

項目		金額(税込)
1	準備委員会拠出金	5,500,000
2	補助金	5,500,000
3	スペース利用	4,917,000
4	広告利用	0
5	視察代	171,600
6	なんばるうポ(講演会型勉強会)	39,456
7	その他	24,876
収入合計		16,152,932

【支出】

(円)

項目		金額(税込)
地域 環境 保全	1 清掃費	0 ※1
	2 自転車マナー啓発費	40,335
	3 警備費	0 ※2
利 活 用	4 滞留空間創出関連費用	2,962,611
	5 スペース利用関連費	15,063
	6 催事実施費	6,765,022
調 査	7 調査費	90,005
事 務 関 連	8 事務費	2,451,679
	9 水道光熱費	152,204
	10 保険料	50,430
	11 税金	17,500
支出合計		12,544,849

【2023年度社会実験収支（約4か月間）】

収入合計－支出合計＝3,608,083円

→24年度の広報費（HP改修等）に充当予定

※1 清掃費について、2023年度は準備委員会各社で負担。（約30万円）

※2 警備費について、2023年度は大阪市にて負担。

将来警備費を民間で負担可能とすべく財源確保を目指す。

■2024年度事業予算（4月時点想定）

【収入】

(円)

項目		金額(税込)
1	準備委員会拠出金	11,000,000
2	補助金	11,000,000
3	スペース利用	16,200,000
4	広告利用	13,200,000
5	視察代	160,000
6	なんぼるラボ(講演会型勉強会)	160,000
7	その他	0
収入合計		51,720,000

【支出】

(円)

項目		金額(税込)
地域 環境 保全	1 清掃費(ポイ捨て対策含む)	1,103,000
	2 自転車マナー啓発費	1,500,000
	3 警備費	0
利 活 用	4 滞留空間創出関連費用	3,600,000
	5 スペース利用関連費用	2,084,000
	6 催事実施費	4,600,000
調 査	7 調査費	2,000,000
情 報 発 信	8 広報費	6,800,000
事 務 関 連	8 事務費	18,231,120
	9 水道光熱費	500,000
	10 保険料	50,430
	11 税金	370,000
	12 予備費	2,000,000
支出合計		42,838,550

【2024年度社会実験収支】

2023年繰越分 + 収入合計 - 支出合計

= 12,481,450円

※次年度繰り越しを想定して1100万円

(準備委員会拠出金金額相当) を確保予定

■ 2025年度事業収支（現時点想定案）

【収入】 (円)

項目		金額(税込)	
収益事業	1	スペース利用	18,400,000
	2	広告利用(デジサイ・バナー)	21,250,000
	3	その他	320,000
拠出金	4	準備委員会拠出金 ※	0
	5	補助金	0
収入合計		39,970,000	

【2025年度社会実験収支】

収入合計－支出合計 = 2,618,900円

※2025年度の準備委員会拠出金なし

⇒詳細【別紙】参照

【支出】 (円)

項目		金額(税込)	
占用料	1	道路占用料	0
地域環境保全	2	清掃費	1,103,000
	3	駐輪対策・押し歩き対策	1,500,000
	4	警備費	0
利活用	5	滞留空間創出関連費	1,600,000
	6	スペース利用関連費用	2,876,000
	7	催事実施費	4,600,000
調査	8	調査費	3,000,000
情報発信	9	広報費	2,660,000
事務関連	10	事務費	17,391,670
	11	水道光熱費	500,000
	12	保険	50,430
	13	税金	1,070,000
	14	予備費	1,000,000
支出合計		37,351,100	

利便増進誘導区域の利用イメージ

沿道店舗の滲み出し(カフェのテラス席)区域として活用

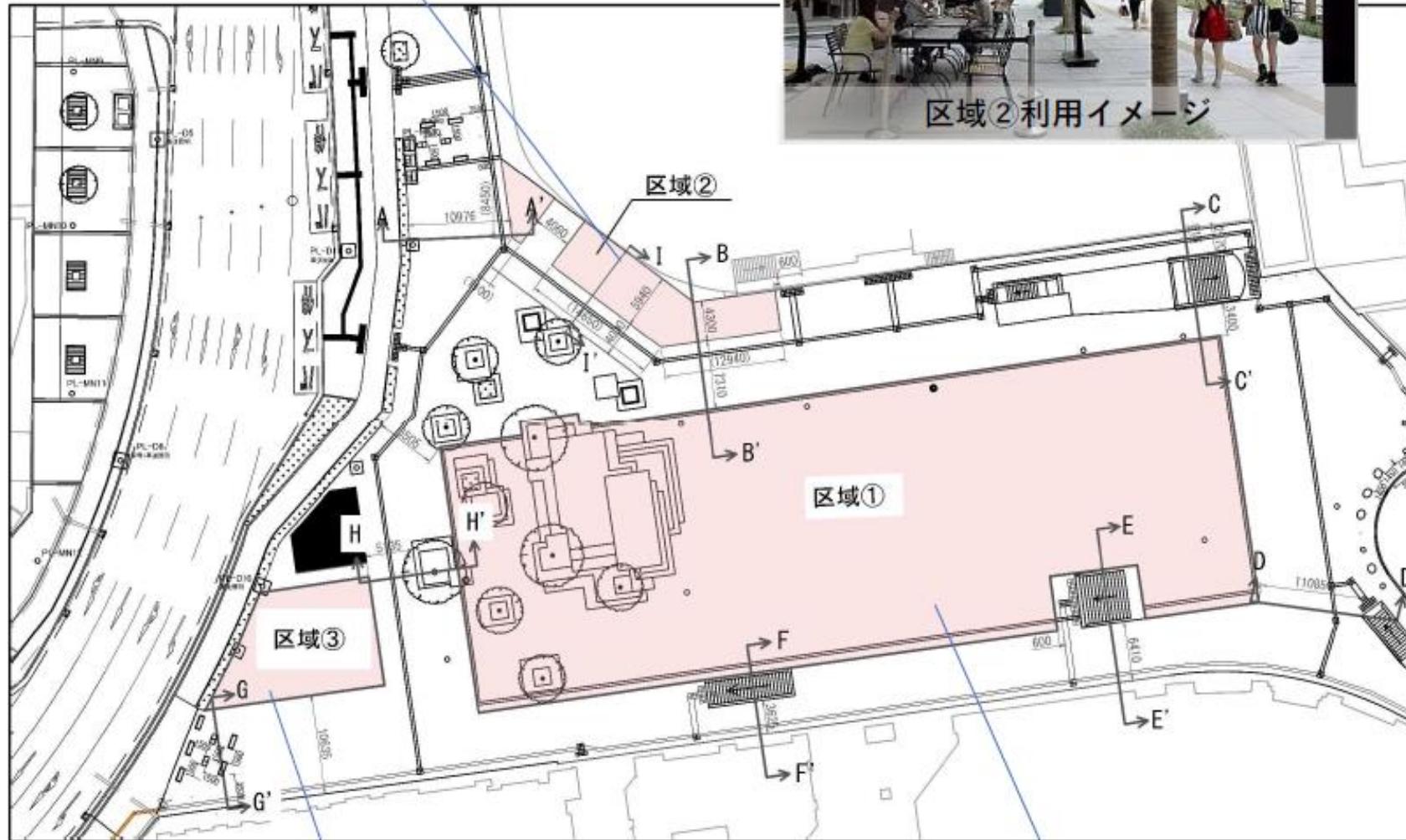
区域② (マルイ滲みだし)



区域②利用イメージ



区域①日常時



区域①イベント時

区域③ (喫煙所南側)

区域①イベント時のバックスペースや小規模イベントスペースとして活用

区域① (広場中央部)

日常時はテーブル・イスの設置、イベント時はイベント利用として活用



区域③イベント時

⇒ 【今後の方針】 8月下旬のイベント実施(予定)時に区域②及び区域③の活用検証を行い、活用方や周辺歩行者空間の交通量調査等の検証結果を踏まえて警察協議を進めていく

■なんば広場 2025年度社会実験&常設運営時収支想定案

2024年7月19日
なんば広場マネジメント法人設立準備委員会

■前提条件

- ・初期費用は含んでいない。(机・椅子など)
- ・イベントは9回/年を想定。

★全体収支

2025年度社会実験 ※ほこみち導入後	
収入	39,970,000
支出	37,351,100
収支合計	2,618,900

★毎年200万～300万の積立を実施し、設備更新や不測の事態に備える

【別紙】

※課税収益想定 3,660,219 約30%を税金として支払い

収入	分類	項目	収益・非収益 分類	2025年度社会実験 ※ほこみち導入後	備考								
A	拠出金	1 準備委員会拠出金		0									
		2 国からの民間直接補助		0									
	B	収益事業	スペース利用① 準備委員会窓口	変動	収益	6,000,000	★①+②+③=約600万(税込) (詳細) ①地域行事:1回(平日設営1日/休日実施2日/減免50%) →154万×1回=154万円(税込) ②行政行事:1回(平日設営1日/休日実施2日/減免50%) →154万×1回=154万円(税込) ③その他:1回(平日設営1日/休日実施2日/減免無し) →294.8万×1回=294.8万円(税込) ・代理店手数料は30% ①休日2日イベント:6回(平日設営1日/休日実施2日/減免無し) →294.8万(イベント1回)×70%×6回=約1240万(税込) CVUJOヒアリング ★算出根拠:①-(②+③+④+⑤)=約125万円 (詳細) 販売費:100万円(税込)・2週間 ※制作・取付・撤去費用込み ①売上:100万円×9回=900万 ②代理店マージン(20%)=180万 ③製作費等=約530万円 ④レップ手数料(20%)=約40万円 ⑤運立立ち合い:27万円						
								スペース利用② CVUJO窓口	変動	収益	12,400,000		
								広告利用① デジサイ	変動	収益	20,000,000		
			6	広告利用② パナー広告	変動	収益		1,250,000					
									建物利用	変動	収益	0	物販で検討
									スポンサー企業	変動	収益	0	オフィシャルスポンサー検討
									視察代	変動	非収益	160,000	2023年度実績:約4万円(3か月:1月~3月) →2024年度想定:4万×4=16万
									なんばらぶ収入	変動	収益	160,000	2023年度実績:約4万円/回 →4万円×4回=16万円
									自主事業	変動	非収益	0	
									利息	変動	非収益	0	10円程度
収入合計				39,970,000									

支出	分類	項目	収益・非収益 分類	2025年度社会実験 ※ほこみち導入後	備考						
A	占用料	1 道路占用料	-	共通	0	社会実験時は免除					
B	地域環境保全①清掃	2 清掃費	確定	共通	803,000	2,200円/日×365日=803,000					
		3 ごみ処分費	-	共通	0						
		4 ボイ捨て対策費	-	共通	300,000	チラシ等の作成					
C	地域環境保全②自転車	5 駐輪対策・押し歩き対策	-	共通	1,500,000	チラシ等の作成					
D	地域環境保全③治安維持	6 警備費(治安維持)	-	共通	0	1ポスト2名体制・8h警備員→14,600,000円(税込) 常駐時間以外は巡回警備を想定					
							7 防犯カメラ維持管理	-	共通	0	録画プラン: 2,200円/月×台×3×12か月=79,200円(税込)
							8 警備費(交通)	-	共通	0	
E	滞留空間創出	9 植栽水やり	一部確定	共通	600,000	現在の設置分:418,000円/年 →設置数を増加させることを見越して増額					
		10 備品購入・ハード修繕等	-	共通	1,000,000	机・椅子修理等 参考:現在設置している机・椅子の費用 机35台→1,386,000円(税込) 椅子100脚→967,824円(税込)					
F	収益事業連動①スペース利用	11 現場立ち合い委託費	収益	2,376,000	夜間立ち合い6,000円/日 66,000円×2日(設営・撤去)×18回(イベント数想定)=2,376,000円(税込)						
G	収益事業連動②広告関連	12 広場貸出関連備品購入	収益	500,000							
H	調査費	13 設置費用等	-	収益	0	広告事業者の提供を想定					
I	自主企画	14 調査費	-	共通	3,000,000						
		15 なんばらぶ	収益	600,000	なんばらぶ4回分 約150,000円×4回=600,000円						
J	広報	16 自主企画	-	共通	4,000,000	めざす姿実現のための自主事業					
		17 WEBサイト維持管理費	共通	660,000	55,000円×12か月=660,000円(税込)						
		18 その他広報	共通	2,000,000	パンフレット作成・記事執筆依頼等						
K	水道光熱費	19 電気代	-	共通	500,000	2023年度実績:約12万円(3か月:12~2月) 12万円×4=48万円≈約50万円 ※防犯カメラとイベント時の電気代を準備委員会が負担					
L	保険	20 施設賠償責任保険	確定	共通	50,430	2024/11/252025~11/26まで1年間の契約 ※現契約は2024/11/25まで					
M	事務所兼倉庫	21 家賃	確定	共通	618,310	家賃89,650円+共益費35,860円=125,510円/月 125,510円×なんばん分(家賃59,400円+共益費9,900円)=56,210円 56,210円×11か月=618,310円					
N	事務局費	22 事務局運営サポート費	-	共通	16,500,000						
		23 税理士委託費	確定	共通	110,000	現在の契約金額					
		24 会計ソフト(マネーフォワード)	確定	共通	59,760	現在の契約金額					
		25 印刷・会議会場費等	-	共通	100,000						
		26 支払手数料	-	共通	3,600	2023年度実績:約1200円(4か月:12月~3月) →2024年度想定:1200×3=3600					
		27 法人税(均等割)	確定	共通	70,000						
O	税金	28 法人税	-	共通	1,000,000						
P	予備費	29 予備費	-	共通	1,000,000						
支出合計				37,351,100							